【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和4年5月2日(2022.5.2)

【公開番号】特開2021-33106(P2021-33106A)
【公開日】令和3年3月1日(2021.3.1)
【年通号数】公開・登録公報2021-011
【出願番号】特願2019-154413(P2019-154413)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ 21/14(2006.01)
Ｈ０４Ｎ 5/74(2006.01)
Ｇ０３Ｂ 21/00(2006.01)
Ｇ０６Ｆ 3/042(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ 21/14 Ｚ
Ｈ０４Ｎ 5/74 Ｚ
Ｇ０３Ｂ 21/00 Ｄ
Ｇ０６Ｆ 3/042473

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月20日(2022.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明に係る検出装置の一態様は、表示面に向かって光を射出し、前記光の照射位置を検出する検出装置であって、前記光を射出する射出部と、前記表示面を撮像することによって生成される撮像データに基づいて、前記表示面における前記光の照射位置が目標領域に位置するか否かを判断する判断部と、前記照射位置が前記目標領域に位置しないと前記判断部が判断する場合、前記照射位置を前記目標領域に向けて移動させる方向に、前記光の射出方向を制御する方向制御部と、を含み、前記方向制御部は、前記目標領域とは異なる第１領域に前記照射位置が位置する場合、前記目標領域と前記第１領域との間の第２領域に前記照射位置が位置する場合に比べて、前記光の射出方向の制御によって前記照射位置を前記目標領域に向けて移動させる距離を長くする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【図１】第１実施形態に係る表示装置１を模式的に示す図である。
【図２】図１に示した矢印Ｐの方向から見た表示装置１の側面図である。
【図３】第１レーザー光源ユニット３１ａと第２レーザー光源ユニット３１ｂの一例を示す図である。
【図４】第１照射エリアＬ１の位置の調整と、第２照射エリアＬ２の位置の調整と、の完了時の状況を示す図である。
【図５】反射体ＳＳの一例を示す図である。
【図６】表示装置１の一例を示す図である。

【図７】第１照射位置Ｓ１の移動の一例を示す図である。
【図８】第１ライトカーテンＬａの射出方向および第２ライトカーテンＬｂの射出方向の調整動作を説明するためのフローチャートである。
【図９】第１ライトカーテンＬａの射出方向および第２ライトカーテンＬｂの射出方向の調整動作を説明するためのフローチャートである。
【図１０】表示装置１の動作の一例を示す図である。
【図１１】表示装置１の動作の一例を示す図である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
また、第２照射エリアＬ２が撮像部２１によって撮像され易くなるように、第２目標エリアＴ２とその周辺のエリア、具体的には、第２目標エリアＴ２と第６エリアＲ６と第８エリアＲ８に、図５に示す反射体ＳＳが設置されてもよい。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
第６エリアＲ６は、第２目標エリアＴ２から離れている第５エリアＲ５と、第２目標エリアＴ２と、の間に位置する。第８エリアＲ８は、第２目標エリアＴ２から離れている第７エリアＲ７と、第２目標エリアＴ２と、の間に位置する。第２目標エリアＴ２は、第６エリアＲ６と第８エリアＲ８との間に位置する。
第７エリアＲ７、第８エリアＲ８、第２目標エリアＴ２、第６エリアＲ６および第５エリアＲ５は、Ｙ方向において、この順番で直列に配置されている。なお、第７エリアＲ７、第８エリアＲ８、第２目標エリアＴ２、第６エリアＲ６および第５エリアＲ５は、Ｙ方向において、逆の順番で配置されてもよい。
第５エリアＲ５、第６エリアＲ６、第２目標エリアＴ２、第８エリアＲ８および第７エリアＲ７の各々の大きさおよび形状は、図４に示す大きさおよび形状に限定されず適宜変更可能である。
第５エリアＲ５、第６エリアＲ６、第７エリアＲ７および第８エリアＲ８の位置は、予めプロジェクター２に設定されている。例えば、第５エリアＲ５、第６エリアＲ６、第７エリアＲ７および第８エリアＲ８の各位置を示す情報が、使用者によって、プロジェクター２に入力される。
第５エリアＲ５は、第１領域の他の例である。第５エリアＲ５が第１領域である場合、第６エリアＲ６が第２領域となる。第７エリアＲ７は、第１領域の他の例である。第７エリアＲ７が第１領域である場合、第８エリアＲ８が第２領域となる。